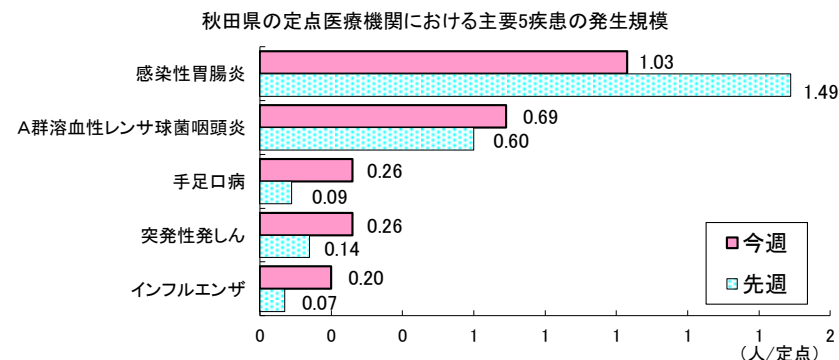




【第16週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. 感染性胃腸炎は、県全体で31%減少しています。保健所別では、大仙で同規模、秋田市、大館、能代、秋田中央、横手、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.2倍に増加しています。保健所別では、秋田中央、大仙で増加、大館、能代で同規模、秋田市で減少しています。
3. 手足口病は、県全体で2.9倍に増加しています。保健所別では、全ての保健所で増加しています。



発生報告

<五類定点対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減			
RSウイルス感染症		0.03	↗																											
インフルエンザ	0.07	0.20	↗	0.36	1.00	↗																								
咽頭結膜熱	0.11	0.09	↘	0.29	0.14	↘	0.25		↘										0.50	↗							0.25	↘		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.60	0.69	↗	0.71	0.57	↘	0.25	0.25					0.67	0.67		2.75	3.00	↗				0.50	1.25	↗						
感染性胃腸炎	1.49	1.03	↘	2.29	1.29	↘	0.75	0.25	↘				3.00	2.67	↘	3.00	2.50	↘				0.75	0.75		0.67		↘	1.75	1.25	↘
水痘	0.06	0.06								0.50	0.50																			
手足口病	0.09	0.26	↗	0.29	0.57	↗		0.25	↗															0.33		↘				
伝染性紅斑	0.26	0.20	↘	0.43		↘																1.25	1.75	↗	0.33	1.00	↗		0.25	↗
突発性発しん	0.14	0.26	↗	0.14	0.29	↗	0.25	0.50	↗		0.50	↗				0.25		↘						0.33	1.00	↗	0.25	0.25		
ヘルパンギーナ		0.03	↗																0.25	↗										
流行性耳下腺炎																														
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.43		↘	1.00		↘				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	0.25	0.13	↘	1.00	1.00											*	*							1.00		↘				
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・四類感染症のレジオネラ症が大館保健所管内から1人、報告されました。
・指定感染症の新型コロナウイルス感染症が湯沢保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-15週		16週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
	結核	4734	25	
	ジフテリア			
二類	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ			
	細菌性赤痢	38		
	腸管出血性大腸菌感染症	284	8	
	腸チフス	12		
	パラチフス	6		
	急性肝炎	172	1	
四類	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	45		
	エキノコックス症	6		
	黄熱			
	オウム病	3		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症	1		
	重症熱性血小板減少症候群	8		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	1週-15週		16週	
		全国	秋田	秋田	
四類	チクングニア熱	3			
	つつが虫病	59			
	デング熱	40			
	東部ウマ脳炎				
	鳥インフルエンザ(H5N1, H7N9を除く)				
	ニパウイルス感染症				
	日本紅斑熱	12			
	日本脳炎	1			
	ハンタウイルス肺症候群				
	Bウイルス病				
	鼻疽				
	ブルセラ症	1			
	ペネズエラウマ脳炎				
	ヘンドラウイルス感染症				
	発しんチフス				
	ポツリヌス症				
	マラリア	9			
	野兔病				
	ライム病	1			
	リッサウイルス感染症				
	リフトバレー熱				
	類鼻疽				
	レジオネラ症	388	4	1	
	レプトスピラ症	1			
	ロッキー山紅斑熱				
	五類	アメーバ赤痢	174		
		ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	70		
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		405	1		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		8			
急性脳炎		240	4		
クリプトスポリジウム症		1			
クロイツフェルト・ヤコブ病		35	1		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		261	2		
後天性免疫不全症候群		262			
ジアルジア症		12			
侵襲性インフルエンザ菌感染症		122			
侵襲性髄膜炎菌感染症		10			
侵襲性肺炎球菌感染症		748	6		
水痘(入院例に限る)		111	3		
先天性風しん症候群		1			
梅毒		1473	15		
播種性クリプトコックス症		33	1		
破傷風		23			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症					
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		37			
百日咳	2141	8			
風しん	75				
麻しん	11				
薬剤耐性アシネトバクター感染症	2				
指定	新型コロナウイルス感染症	7378	15	1	

トピック

<今シーズン流行したインフルエンザウイルスの型について>

インフルエンザは36週から翌年の35週までを1シーズンとして、その流行状況が調査されています。秋田県内では2月以降、インフルエンザウイルスB型が検出される事例が散見されていましたが、第12週(3月16日~3月22日)には定点あたりの患者数が流行の目安である1.00を下回りました(3ページ参照)。

■今シーズンのインフルエンザウイルス型の流行状況

県健康環境センターでは、病原体定点観測調査により県内9医療機関から提供された患者検体についてインフルエンザウイルスの調査をしています。例年、インフルエンザウイルスは、流行の初め頃にA型のH1pdm型とH3型(香港型)のどちらかが流行し、春先頃からB型の検出される割合が高くなる傾向があります。昨シーズンはAH3型(香港型)が流行している型の主流でしたが、今シーズンはAH3型に代わりAH1pdm09型が主たる流行型でした(図)。B型は昨シーズンは4月末から5月に検出されていましたが、今シーズンは2月から3月にかけて検出されました。

■社会福祉施設等の集団感染事例におけるインフルエンザウイルスの型

社会福祉施設等で発生した集団感染事例では、1月までは大部分がA型でした(表)。2月からはA型の他、B型の検出も多くなり、3月の4事例はすべてB型が原因でした。

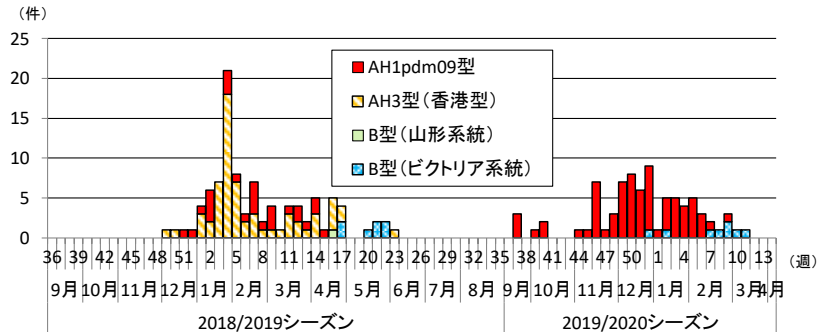


図 秋田県健康環境センターにおける検体採取週ごとのインフルエンザウイルス検出数 (2020年4月10日現在)

表 社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団感染事例の原因ウイルス型(2019/2020シーズン)

報告月	件数	インフルエンザウイルス型別		
		A型	B型	A&B型*
10月	1	0	1	
11月	3	3	0	
12月	53	53	0	
1月	42	41	0	1
2月	17	9	8	
3月	4	0	4	

* 同一事例にA型とB型の患者



今シーズン(2019年/2020年)のインフルエンザ流行状況について

○厚生労働省のインフルエンザに関する定期的な公表は、第14週(3/30～4/5)をもって終了しました。

○秋田県では、2019年第46週(11月11日～11月17日)に定点あたり患者数が3.60となり、流行の目安となる1.00を超え、今シーズンの流行入りが確認されました。昨シーズンより3週早い流行入りでした。

○2020年第1週(12月30日～1月5日)に定点あたり患者数が46.06となり、今シーズンのピークを迎えました。

○第12週(3月16日～3月22日)には定点あたり患者数0.91と流行の目安である1.00を下回りました(図1)。

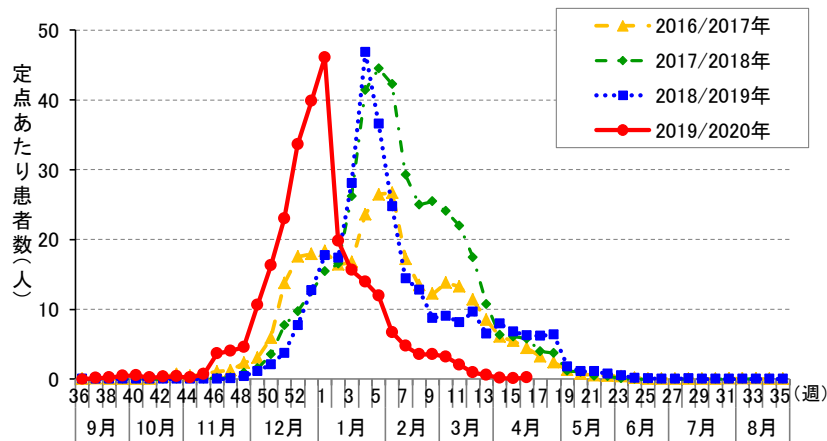


図1 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

インフルエンザ入院サーベイランス集計 (2019年第36週～2020年第16週:2019年9月2日～2020年4月19日)

○インフルエンザによる入院患者数：秋田県内8基幹定点医療機関から4月19日現在で320人の報告がありました。そのうち21人はICU入室や頭部CT検査などを必要としました。

○年齢別にみると、1歳未満32人、1～9歳137人、合わせて9歳以下が169人(52.8%)と半数を占めました。また60歳以上が全体の1/3を占めました(図2)。

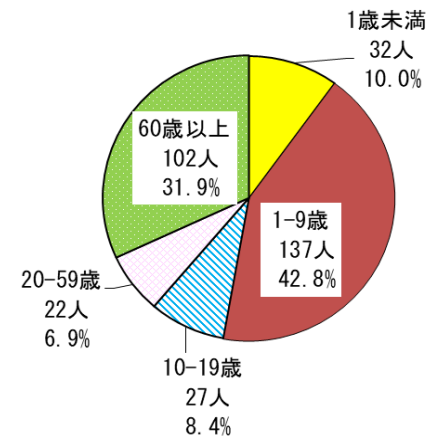


図2 秋田県におけるインフルエンザ入院患者の年齢階級別割合

今シーズンのインフルエンザ発生状況に関する詳細報告は、今週号をもって終了いたします。社会福祉施設等における集団発生等が報告された場合は、今後も随時、週報内で報告していきます。



感染性胃腸炎情報

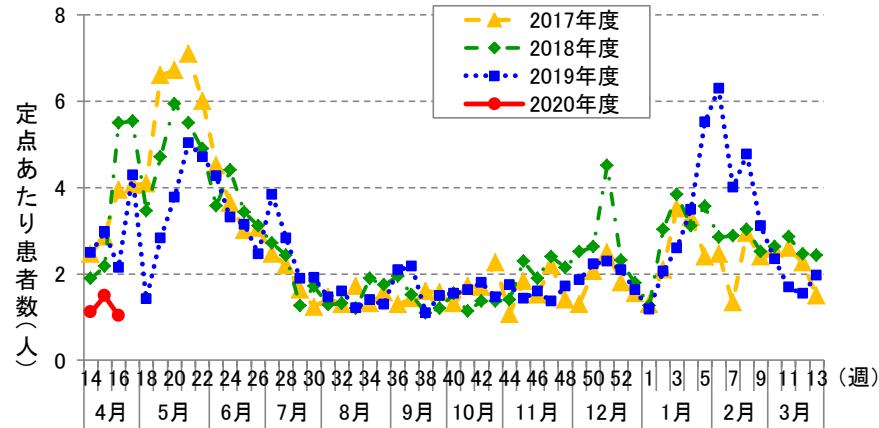


図 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

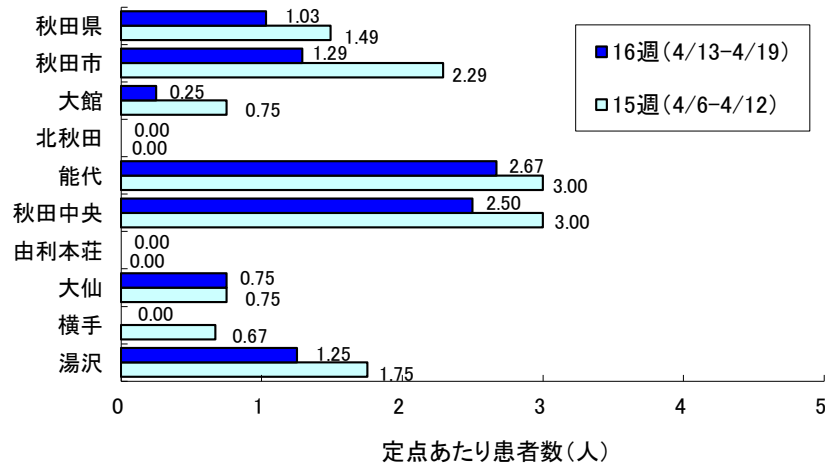


図 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	型
			利用者(園児、入所者等)	職員	計		
秋田市	ならやま認定こども園	4/16	99名のうち 23名	37名のうち 1名	24名	3/27 ~ 4/16	B

【インフルエンザの集団発生状況】

○今シーズン(4月19日時点)の報告数
121施設: 社会福祉施設18、保育所等102、病院1

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

その他の感染症の集団発生報告

かぜ様症状の集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間
			利用者(園児、入所者等)	職員	計	
湯沢市	昭平苑	4/15	95名のうち 13名	71名のうち 3名	16名	4/2 ~ 4/17



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		